



荒川中学校3年生が能登半島地震義援金を日本赤十字社へ贈呈

荒川中学校3年生は、SDGs×地域貢献活動である「あらかわチャレンジ」で、地域事業者の方々の協力をいただきながら活動を行い、その活動で得られた収益金を荒川地区に役立てようと考えていました。

そんななか、新年早々に能登半島地震が発生し、多くの被災者の方々が困難に直面している様子を報道などで知った生徒は話し合いを行い、日本赤十字社を通じて義援金をお贈りすることとしました。

3年生を代表して渡邊奏多さんと内山咲季さんは、「地震で多くの方々が被災されていることを知り、お見舞いを申し上げるとともに、自分たちも令和4年の豪雨水害で被災し、避難生活を余儀なくされる生徒もあり、今回の地震が他人事とは思えませんでした。自分たちと同じ中学生や受験生の皆さんは、このつらい時期を乗り越えて復興に向けて前を向いて頑張ってもらいたい。そして、自分たちの地域が被災した時に全国の皆さんから温かな支援をいただいたので、今回は自分たちができることとして能登半島地震への義援金として恩返しができればと考えています。」と話していました。



あらかわチャレンジを主導した加藤先生は、「地域の皆様の協力で、生徒の想いをカタチにできた「あらかわチャレンジ」。今度は、生徒の想いを義援金と激励の手紙として、被災地の皆さんにお届けすることができました。「義援金を贈りたい」、「被災者の生活再建と復興の一助になりたい」という言葉に、生徒の成長を感じています。」と話していました。

あらためて、被災地の皆様が一日でも早く元の生活に戻れることを切に願い、全国に大きな支援の輪が広がっていくことを願っています。

令和5年度あらかわみらいファンド報告会&令和6年度助成事業説明会開催のお知らせ

今年度の助成を受けた各団体の活動状況や成果についての報告会を行います。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。続けて、令和6年度の助成事業説明会も開催いたします。

日時 3月10日(日) 午前9時30分～

会場 荒川地区公民館2階会議室

発表団体と事業名

【一般部門】

プロジェクトH
フリースタイルアラカワ
あらかわ大地の会

まちの保健室～心身の健康をサポートします～事業
あらかわ復興駅前マルシェ
「荒川平野の生い立ちとくらしを学ぶ」事業



【チャレンジ部門】

夢絵本☆野いちご
村上市立保内小学校PTA

夢絵本☆野いちご 夢ワクワク事業
保内小PTAプロジェクト「上を向いて歩こう～羽ばたけ未来へ～」



—あらかわみらいファンドとは?—

自らの発想で自主的にまちづくりに取り組む団体や個人を応援するため設立された助成制度であり、様々な取り組みを支援しています。ぜひご活用ください。あらかわ地区まちづくり協議会ホームページの各種ダウンロードにも要項を掲載しております。<https://love-arakawa.com/download/>

村上ハマナス日本語教室 生徒募集

日本語を母語としない方たちへの日本語指導、生活支援、国際交流促進、異文化理解等、毎日の生活が円滑に過ぎるための支援を目的として日本語教室を実施しています。海外からのビジネス関係者やその家族、技能実習生など、日本語習得を必要とする方々が対象です。



- 「日本語を上手に話したい」
- 「漢字を勉強したい」
- 「アニメやマンガを見たい」



といった身の回りにいる外国人の方に勧めてください。

ホームページはコチラ➡



日本語教室 (HP) <https://nihongo2019.jyoukamachi.com/>

- <日 時> 毎週日曜日 午後2時～午後4時
毎週月曜日 午前9時30分～午前11時30分
- <場 所> 村上市教育情報センター
- <テキスト代> 1,000円 ※1ヶ月授業4回
- <申込み・問合せ> 野口 090-7845-6995 ※午後6時まで

荒川商工会青年部が中小企業庁長官表彰を受賞

荒川商工会青年部が、第63回商工会全国大会で、県内唯一となる中小企業庁長官表彰を受賞しました。令和4年8月の水害発生直後に県内各地の商工会青年部の協力を得て住民に飲料水を配布したり、「だいすき!あらかわ」のぼり旗を飲食店に設置して地域経済復興に尽力したことが評価されました。



青年部長の高橋さんは、「この度は、このようなかたちで評価頂き嬉しく思います。当時は地域の皆様や企業が被災したなか、青年部として「今何が出来るのか」を思いながら必死で行動していました。これからも地域の皆様の笑顔のために青年部として頑張っていきたいと思っております。」と話していました。

笑顔をささえるしゃべり場

高齢者の方のお悩みはもちろん、自分や家族の老後の不安や相談ごとなど、年齢を問わず自由な雰囲気の中で語り合える場を定期的で開催します。今回は、これまでの人生を振り返り、これからの人生をどう生きていきたいか、普段では気づかなかった自分の人生の価値を発見しましょう。看護師の方から、実際現場で見てきた様子や自分の意思を記しておくことの大切さなどをお話ししていただきます。

- <日 時> 3月3日(日) 午前9時30分～正午
- <場 所> おらだり基地(村上市金屋2029)
- <参加費> 1人300円 ※飲み物&おやつ付き
- <問合せ> 暮らしのサポートなないろ
長谷部 Tel080-6122-5746



大津獅子踊りがアートミックスジャパンに出演します



新潟市で開催されるART MIX JAPANに、大津獅子保存会が出演し、大津獅子踊りを披露します。ART MIX JAPANは、2013年に新潟で誕生し、「我が国にある世界中の人々を魅了する素晴らしい文化・芸術と出会うための「キッカケ」になれば」と、素晴らしい文化・芸術を誰もが気軽に楽しめる出会いの場として開催されており、今年で10年目の開催となります。

大津獅子踊り（写真左）と八戸えんぶり（写真下）

大津獅子踊りは、約200年前から踊られてきた郷土芸能で、五穀豊穡と家内安全を祈願し、地域の神社仏閣に奉納される伝統的なもので、8月23日の宵宮と24日の本祭にのみ踊られます。また、大津獅子踊りと同じプログラムで、青森県八戸地方で約800年続く、春を告げる色鮮やかな民俗芸能「八戸えんぶり」も共演。烏帽子をかぶった太夫による雄壮な舞、そして恵比寿舞や大黒舞などの子どもたちによる可愛い祝福芸を披露します。青森と新潟の誇りが集う奇跡のダブルステージを是非ご堪能ください。



<日 時> 4月14日（日）午前10時30分～（45分間）

<場 所> りゅーとぴあ劇場（新潟市）

<料 金> A席3,700円 B席3,000円

<その他> 公演情報、チケット購入はこちらから➡



U15無料制度あり！

15歳以下の観覧者については、入場が無料となる制度があります。

詳細は右QRコードよりご覧ください。



[ART MIX JAPAN] <https://artmixjapan.com/program/artist14/>

🍓 夢ファームあらかわのいちご園情報！ 🍓

夢ファームあらかわのいちご園は、暖冬の影響もあり、「例年よりもオープンが早まりそう」という情報を聞きつけ、1月31日に取材に伺いました。いちご園の本保友也さんによると、いちごの生育状況を見ながらとなりますが2月中旬にはオープンできそうとのことです。ハウスの中では、ミツバチがせっせと花粉を運んでいました。



2月下旬から3月上旬には1回目の採り頃を迎えるとのことです。いちご園付近にのぼり旗が立っていたら、ぜひ遊びにいらしてみてください。

夢ファームあらかわいちご園

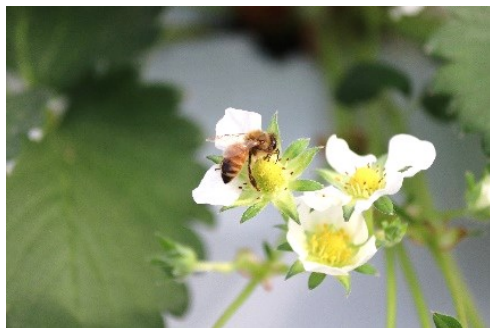
場 所：村上市長政605-1

料 金：入場無料 いちご摘み取り100g 250円程度

電 話：0254-62-5338

いちご園の情報をInstagramで発信中！ <https://www.instagram.com/yumefarmarakawa/>

時期により変動



ふくちゃ部からのお知らせ



ふくちゃ部 部員募集中

発達が気になる子どもや
その家族を応援しています。



<https://hukutyabu.amebaownd.com/>

「見る力」。ビジョントレーニング基礎講座

「運動が苦手」「集中力が続かず座ってられない」「姿勢が悪く保てない」。これらの原因は目かも知れません！
ビジョントレーニングとは、ものを目で捉える力や目で見たものを脳で処理し、体を使って動かす機能を高めるトレーニングです。ビジョントレーナー&視能訓練士として活躍中の五十嵐文先生を講師に招き、見る力についての基礎知識をお話頂きます。目と脳と身体の繋ぎ方、一緒に学んでみませんか。

- <日 時> 3月24日(日) 午前10時~午前11時30分
- <場 所> つどい場「あら、ほっ」
- <対 象> 発達の気になる子どもの保護者や関係者、ビジョントレーニングに関心のある方
※ふくちゃ部の入部をお願いします。
- <参加料> 1組1,000円 ※要予約
- <その他> 子ども同伴可(託児はありませんが、子どもが遊べるスペースを設置しています)
- <申込・問合せ> ふくちゃ部 090-2163-0696



「生と性」についての学び 思春期向け

性についての無知や無理解に悩む子ども達を減らすため、子ども達や家族が幸せな人生を歩むための「生と性」について学ぶ機会を設けます。今回は子ども達の座談会&ワークショップを開催します。

板垣涼子先生(助産師・村上看護医療専門学校講師)を講師に招き、助産師さんや保健師さんがファシリテーターとなり、子ども達の様々な疑問や不安に寄り添いつつ、性に関する知識を深める時間とします。

- <日 時> 3月24日(日) 午前10時~午前11時
- <場 所> つどい場「あら、ほっ」
- <対 象> 小学6年生~中学3年生の子ども
(子ども達の座談会&ワークショップ)
- <参加料> 無料 ※要予約
- <その他> 保護者の方は同時開催予定の「ビジョントレーニング講座」にご参加いただくことも可能
- <申込・問合せ> ふくちゃ部 090-2163-0696

【ふくちゃcafe】もよろしくです♪



【ふくちゃcafe】
<https://hukutya-cafe.amebaownd.com/>

あらかわまちづくり 歴史探訪

Vol.29 (2024.2)

発行：支援・情報部会 須貝俊樹
監修：佐藤和一郎

あらかわ地域には、あっと驚く歴史があります

鎌倉時代

【義経記に、鼠ヶ関での逸話が書かれています】—義経記—

鼠ヶ関(念珠の関)にて、歌舞伎の「勧進帳」の場面に似た記述が『義経記』において書かれています。

※勧進帳では、石川県安宅の関での場面となっています。



【写真】日本芸術文化振興会文化デジタルライブラリーの歌舞伎辞典における勧進帳サイトより

義経記の直江の津にて笈探されし事の章に記載された「念珠の関」での場面が、歌舞伎勧進帳の場面に似て、元々、念珠の関での逸話が元になっているとの話があります。

念珠の関で通るために、怪しまれぬよう、弁慶が、義経を打ちたたくことが書かれています

『日本古典文学大系 37 義経記』岩波書店,1977年(村上市中央図書館所蔵)

え〜っ。あの歌舞伎の勧進帳場面と似たことが『義経記』 鼠ヶ関(念珠の関)での部分に書かれているね！次は胎内市乙宝寺を訪ねるよ。

荒川を通った義経と弁慶が、関所を通ることが書かれた場面が、鼠ヶ関かもしれない?!知らなかったな〜



サンスマイルあらかわからお知らせ！



今年度も荒川地区体育協会主催の荒川体協祭を開催します！
年齢関係なく大人から子どもまで楽しめるレクリエーションを行います！
家族やお友達、お孫さんとぜひご参加ください(^ ^)



- <日 時> 3月24日(日) 午前9時30分～11時30分
- <場 所> 荒川総合体育館
- <対 象> 荒川地区在住者
- <持ち物> うち履き(運動靴をご持参ください)、汗拭きタオル、飲み物など
- <申 込> **事前申し込みをお願いします**
平日午前9時～午後5時30分まで荒川総合体育館(0254-62-3248)にて受け付けます
- <その他> 動きやすい服装でお越しください

<問合せ・申込み> NPO法人サンスマイルあらかわ ☎0254-62-3248
≪平日午前9時30分～午後5時30分までサンスマイル職員が対応いたします≫

あらかわ互近所ささえ～る隊

「自ら行動しよう！」

～お互いに「お願いします」と言い合える地域を目指して～

【問合せ先】
荒川支所地域振興課地域福祉室
☎0254-62-3101 (内線124、127)



元旦に能登半島で大きな地震が発生しました。被災された方々にお見舞い申し上げ、早急な復興をお祈り申し上げます。住み慣れた地域、付き合いの深かった隣人との別れ、今後どうするのか選択を迫られる実情を見ると胸が苦しくなります。

能登半島地震を経て考えたことがあります。それは、「自ら行動しよう！」ということです。高齢になり、できないが増えるのは悪いことではありません。いつか皆にくることです。隣の人に「何か困っていることはねえ～かね？」と一声かけること、「これ手伝ってもらえね～かね？」と人に頼ること。自分から発信していくことで周りも変わってきます。私も「これできないのでお願いできませんか？」と、これからどんどん発信していきたいと思えます。

あらかわ互近所ささえ～る隊は、住み慣れた地域でさらに住みやすい地域づくりができるように活動しています。荒川地区の皆さん、ささえ～る隊と一緒に地域の困りごとを考えてみませんか？お互いに助け合える地域を目指して、自ら行動していきましょう！

あらかわ互近所ささえ～る隊隊員 関口 三樹雄

保育園の豆まき



2月2日に、節分の豆まきが金屋保育園(写真左)と、あらかわ保育園(写真右)でそれぞれ行われました。園児は、赤鬼と青鬼に向けて「鬼は外～、福は内～」と元気よく豆をぶつけ、邪気を払い、一年の無病息災をみんなで願いました。ちなみに、渡辺さんちの節分事情ですが、言い伝えとして、「平安中期に活躍した渡辺綱という武士が鬼を退治したので、姓が「渡辺」という家には鬼が寄りつかないという」ことから、渡辺さんちでは豆まきをする必要がないそうですね～。



酒井 幸子さん



荒川地区集落支援員だより



「水を差す」という

“ことわざ”がありますが、元旦に起きた地震は、まさしく多くの方々の新年の出発に、水を差すことになりました。能登半島地震によって、不条理な死を受け入れながら生きる遺族の知られざる思いを想像すると、胸が痛く言葉になりません。

私は、集落支援員の集落点検業務として先日、金屋区事務所に立ち寄らせていただきましたが、やはり話題は水害や地震の話になってしまいます。話が暗くなりすぎないように、明るい話題に触れつつも、地域の方々の防災についての考えをお聞きしました。

その話のなかで、高齢者の方をどう支えていけるかを話し合いましたが、災害時は特に自分の足で逃げられるかがポイントになります。私も立派な高齢者ですから、他人事ではありません。筋力維持のためには、歩くことに加え、股関節を鍛えることが大事だそうです。そんな訳で、この後に続く臥牛山さんの記事はぜひお読みください。お金も大切ですが、「幸齢者（高齢者）は貯筋（貯金）」が何より大事！だそうです。」

臥牛山 朝猛さん



力士は怪我をする事を悪い事とだとは思いません。もっと強くなるために体が自分の悪いところを教えてくれているのだと考えます。負担の少ない体の動かし方が、100パーセントに近い力を出すことができます。これを普段の生活に使えると考えて実施している「どすこいエクササイズ」。相撲は日本武術なので、日本人の体にあつた体の使い方ができます。

相撲の稽古を想像すると、厳しい運動を想像してしまいますよね。どすこいエクササイズでは、椅子を使ってそれぞれの体力に見合った運動をしています。また、話をしたり笑ったりすることも大切にしています。少し運動して椅子に座って休んでも大丈夫。

つどい場「あら、ほっ」では木曜日(第3木曜日休み)、金屋のおらだり基地では火曜日の開催で、時間はどちらも午後1時30分から1時間の開催です。つどい場「あら、ほっ」では、毎回10人くらいが参加しています。金屋のおらだり基地では現在のところ参加者はいません。細かく教えてもらいたいとか、周りの人についていけないから自分のペースでやりたい人には金屋会場がおすすめです。気になった方は、見学やお話だけでも結構ですのでぜひお越しください。




2月25日(日)
11:00~13:00
ちゃんこ鍋の日
おらだり基地
なくなったらおしまい

協力金
200円

皆さんこんにちは♪

私は荒川生まれ荒川育ち、すれ違う人はだいたい見た事ある人ばかりなのに、この自然が当たり前すぎて荒川地区の魅力がまだまだ分からないままこの町に住んでいる主婦Yです♪

あらかわ♡いいとこ撮り

- Vol. 5 -

今月も荒川の気になるお店をちょっとだけご紹介♪ゆる～くお付き合いくださいませ！チェック♪

今回は、荒川ショッピングセンターアコス内にある和菓子、洋菓子、パンが賑やかに並び、荒川のみんなが知っている御菓子屋の小島屋さんにお伺いしてきました！

お店の創業は大正10年頃で、創業100年ほどという古い歴史を誇るお菓子屋さんです。早速、私の推しである焼き菓子「鮭ものがたり」の製造工程を撮影させて頂きました📷



鮭ものがたりの生地には、鈴玉さんの鮭味噌を使用しているそうです。

この強そうな上あごを持つ鮭のフォルムといい、ほんのり鮭味噌の塩気とバター風味が見事にマッチしているサクサクのパイ生地といい、みなさんにぜひおすすめしたい逸品なのです！



特注の鮭型で抜いたサク生地がまるで大群で泳いでるみたい♪



キラキラグラニュー糖をまぶします。



時間が経つと生地が緩むので手早く作業しています。



大漁の鮭パイ焼き上がり♪バターの香ばしい香りのお店いっぱい広がります😊焼き上がりも輝いてる～🌟

そのほか、季節の人気商品は、



辰ケーキ

今年の干支ケーキ。食べたらご利益ありそうですね♪



いちご大福

生クリームといちごクリームとイチゴを求肥で包んだ大福。



桜もち

桜の香りがしっかり感じられ、ほんのり塩味のちょうどいい甘さ。桜の花が咲く頃まで販売しているそうですよ☆



バターデコロール

懐かしのバタークリームケーキにデコられたお花の飾りが可愛すぎるーっ🌸



日持ちがするお菓子は、配送もしてくれるので、大切なあの人へ贈るのもワクワクしちゃいますね😊



笹団子



今月のあら、かわいい♡ (荒川いい！にかけてます)

やっぱり推しの鮭ものがたりの鮭味噌パイがいっぱい並んでる姿は圧巻でかわいいな♡

いつも甘いものは大好きだからパクパク食べちゃうけど今後はひと口ひと口しっかり味わいながら食レポのスキルも磨かなきゃと思った主婦Yなのでした♪

【店舗情報】御菓子の小島屋

営業時間：午前10時～午後7時30分

定休日：不定休

住所：村上市藤沢91-5

(荒川ショッピングセンター アコス内)

電話：0254-62-2152



arakawa news paper

アラカワラバン

「あけおめ。」

雪の少ない2月

FEBRUARY 2024 model MUTSUO TSUCHIYA photo RYUTO ITO